⑵　金融商品の時価等に関する事項

期末日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりである。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額（＊1）	時　価（＊1）	差　額（＊1）
⑴　投資有価証券及び有価証券			
満期保有目的債券	5,800,000	5,800,000	—
⑵　現金及び預金	3,569,045	3,569,045	—
⑶　未収附属病院収入	2,595,153		
徴収不能引当金（＊2）	△　46,444		
	2,548,708	2,548,708	—
⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金	(2,758,835)	(3,032,246)	273,411
⑸　長期借入金	(4,534,190)	(4,615,824)	81,634
⑹　リース債務	(2,397,999)	(2,479,240)	81,241
⑺　未払金	(4,213,835)	(4,213,835)	—

（＊1）　負債に計上されているものは、(　) で示している。

（＊2）　未収附属病院収入に個別に計上している徴収不能引当金を控除している。

㈱　金融商品の時価の算定方法

⑴　投資有価証券及び有価証券

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

⑵　現金及び預金、並びに⑶　未収附属病院収入

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。なお、未収附属病院収入のうち貸倒懸念債権については、担保又は保証による回収見込額等により、時価を算定している。

⑷　国立大学財務・経営センター債務負担金、⑸　長期借入金及び⑹　リース債務

これらの時価については、元利金の合計額を新規に同様の借入又は、リース取引を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法により算定している。なお、国立大学財務・経営センター債務負担金については一年以内償還予定額を、長期借入金については一年以内返済予定額を、リース債務については長期リース債務を、それぞれ含んでいる。

⑺　未払金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価格にほぼ等しいことから、当該帳簿価額による。

8．賃貸等不動産関係

当法人は、高知県において、賃貸等不動産を保有しているが、賃貸等不動産の総額に重要性が乏しいため、注記を省略している。

9．資産除去債務関係

⑴　資産除去債務のうち貸借対照表に計上しているもの

①　当該資産除去債務の概要

石綿障害予防規則等に伴う建物のアスベスト除去費用等である。

②　当該資産除去債務の金額の算定方法

使用見込期間を残存耐用年数に応じて24年～29年と見積り、割引率を2.228%～2.2628%を使用して資産除去債務の金額を計算している。

③　当事業年度における当該資産除去債務の総額の増減

変　動　の　内　容	当事業年度における総額の増減
期首残高	143,110千円
有形固定資産の取得に伴う増加額	—千円
時の経過による調整額	3,201千円
資産除去債務の履行に伴う減少額	—千円
期末残高	146,311千円

⑵　資産除去債務のうち貸借対照表に計上していないもの

該当なし

10．重要な後発事象

該当なし

11．その他

貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書及び国立大学法人等業務実施コスト計算書の記載金額は、千円未満を切り捨てて表示している。

附　属　明　細　書

⑴　固定資産の取得及び処分、減価償却費(「第84　特定の償却資産の減価に係る会計処理」及び「第89　資産除去債務に係る特定の除去費用等の会計処理」による損益外減価償却相当額も含む。)並びに減損損失の明細

（単位：千円）

資産の種類		期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	減価償却累計額		減損損失累計額			差引当期末残高	摘要
							当期償却額		当期損益内	当期損益外		
有形固定資産（特定償却資産）	建物	14,808,118	1,032,876	49,112	15,791,882	6,005,185	631,512	3,244	—	—	9,783,451	
	構築物	1,637,043	10,351	1,342	1,646,053	925,115	67,148	—	—	—	720,937	
	機械装置	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	工具器具備品	2,785,565	6,037	—	2,791,602	2,487,442	119,546	—	—	—	304,160	
	図書	154	—	—	154	—	—	—	—	—	154	